

ご利用者の皆様

2021年7月30日  
一般財団法人 日本冷媒・環境保全機構

◆◆◆ 冷媒管理システム R a M S 機能追加、修正のご紹介 ◆◆◆

日頃より冷媒管理システム R a M S をご利用いただき、誠にありがとうございます。  
R a M S を更に使い易くするために、今回追加・修正した機能について簡単にご紹介します。

1. 事業所登録における副ユーザー、準ユーザーにも通知メール配信を追加

…解体工事元請業者と機器引取業者以外の業種で事業所登録された利用者様が R a M S にログインしてメインメニューを開き、画面下部の「事業所登録」または「事業所、統括部署登録」のボックス内にある「副ユーザー、準ユーザー登録」ボタンをクリックすると、事業所登録の「ユーザー名」欄に入力された正ユーザーの他に副ユーザーと準ユーザーを登録できます。

～詳細は取扱説明書 6-9 項「ユーザー管理を利用した社内担当者の登録方法」を参照。

従来、副ユーザーと準ユーザーは正ユーザーと同じ承諾権等を有するものの、R a M S からの通知メールが直接配信されることはなく、正ユーザー宛に送信された通知メールを部署内で転送していただくこととなっておりました。

しかし、これではせっかく副、準ユーザーを登録しても使い勝手が悪いという利用者様よりのご意見にお応えして、この度副ユーザーや準ユーザーにも正ユーザーと同様にすべての通知メールが自動配信されるように変更いたしました。

登録済の副ユーザーや準ユーザーについては、今後は登録されたアドレス宛に通知メールが自動配信されます。尚、R a M S からの配信は不要でしたら、登録情報におけるメールアドレスを空欄とさせていただきます。



The screenshot shows the user registration form for '（株）管理者1東京事業所 ユーザー新規登録'. The form includes fields for 'ログインID', 'パスワード', '権限', 'ユーザー名', 'Email', '確認用Email', and '部署名'. A red arrow points to the 'Email' field with the text '配信不要ならメールアドレスを空欄とする' (If no distribution is required, leave the email address blank).

項目	入力内容
ログインID *	kanri1
パスワード *	[パスワード入力欄]
権限 *	副ユーザー
ユーザー名 *	副澤 友吉
Email	fukuzawa@xxxx.jp
確認用Email	fukuzawa@xxxx.jp
部署名	管理部

## 2. ログブックの2表に「作業年月日」を入力する際のプルダウンリストの年表示の順序を入れ替え

…ログブックの2表に点検、整備記録を入力する際に作業年月日を選択する場合、これまでは古い1980年が最上部に表示されましたが、最近の記録を入力する際のリストのスクロール操作を省くためにリスト最上部には本年が表示されるように年表示の上下の並びを逆転させました。  
尚これは、簡易点検記録の2表や簡易点検一括登録の画面も同様です。

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録  
…充填冷媒が1表の使用冷媒と相違するとエラー  
一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した量  
「破壊・再生・保管量」は「回収量」から「戻し充填  
呼出点検や整備後点検等をもって定期点検  
定期点検で簡易点検も兼ねる際は、簡易点

作業年月日\*

1980  
1981  
1982  
1983  
1984  
1985  
1986  
1987  
1988

所 漏洩・故障原因

者社名

サービス機構 東京都

## 3. ログブックの2表に点検・整備記録を入力後にクリックする画面最下部の「確認画面へ」ボタン等を2表直下部にも追加設置

…ログブックの利用を重ねますと4表の履歴欄は次第に下に伸びますので、画面最下部の「確認画面へ」ボタンを押すには画面をスクロールさせねばなりません。2表の直下部にも「一覧へ戻る」と「一時保存」ボタン共々追加設置しました。  
尚、次の確認画面における「承諾依頼」と「登録」ボタンも同様に追加設置しました。

2. 漏洩点検・整備、回収・充填記録  
…充填冷媒が1表の使用冷媒と相違するとエラーとなります。  
一旦回収して作業後にその冷媒を再充填した量は「戻し充填量」に、新たな冷媒を充填した量は「追加充填量」に記入して下さい。  
「破壊・再生・保管量」は「回収量」から「戻し充填量」を引いた量で、自動計算されます。数値が0以外の部に表示される回をそのまま残せば、処理用の行程管理票が自動作成されます。(無料)  
呼出点検や整備後点検等をもって定期点検に代える場合は、「点検・整備区分」を「定期点検」として下さい。  
定期点検で簡易点検も兼ねる際は、簡易点検記録も記入して下さい。記入しないと次回期限が表示されません。

作業年月日*	点検・整備区分*	充填冷媒*	回収量 kg	戻し充填量 kg	追加充填量 kg*	破壊・再生・保管量 kg	点検内容	点検結果
-----	設置時追加充填量	-----						
入力日の日付を記入								
漏洩・故障箇所	漏洩・故障原因	修理内容		直ちに修理困難な場合はその理由		修理予定日		
備考								
作業請負者社名			所在地			作業担当者*	資格者証番号	
充填回収1 東京都			〒111-0032 東京都台東区浅草334-5					
登録番号	登録都道府県	E-mail	代表電話					
T01234東京	東京都	kaisyu001@yahoo.co.jp	03-6666-6666					

整備者1あり  整備者1なし …整備者とは整備を請負った取次者を指す。登録するには取次者としての事業者コードが必要。

実施作業は2表の内容に相違ありません。 作業請負者責任者確認\*: \_\_\_\_\_ ⇒ 管理者承諾: \_\_\_\_\_

一覧へ戻る 確認画面へ 一時保存

3. 冷媒の充填、回収状況 …確認画面を表示すると自動計算されます。「初期総充填量」は出荷時初期充填量と設置時追加充填量の合計で、「合計充填量」には含まれません。「合計排出量」は「合計充填量」と「合計回収量」の差です。

充填冷媒	(参考) 温暖化係数	初期総充填量 kg	合計充填量 kg	合計回収量 kg	合計排出量 kg	排出量CO2トン
---	---	---	---	---	---	---

4. 点検・整備、充填・回収履歴 …2表に記入された内容が自動転記されます。但し作業請負者情報は表示されません。充填量は、戻し充填と追加充填の合計量です。冷媒量に関する集計結果は3表に表示されます。

状態	伝票番号	作業年月日	点検・整備区分	回収量 kg	充填量 kg	点検内容	点検結果	漏洩・故障原因	漏洩・故障箇所	修理内容(交換部品)	操作

一覧へ戻る 確認画面へ 一時保存 ページトップ ▲

## 4. 1表のみが登録された状態のログブック画面下部に2表の登録を促す注記を追加

…管理者自らがログブックを新規作成した後、本来は充填回収業者に入力して貰って管理者が承諾する「設置時追加充填量」\*1が未登録であるとログブックを開いた際に1表のみが表示され、本来のログブックとしては使用開始前の状態となっています。  
そこで、改めて利用開始を推進させていただくために、1表のみしか登録されていないログブック画面下部に、以下に示すような注記を追加いたしました。

注) \*1: 作業を行った充填回収業者がRaMS未登録で入力できない等の場合は、ログブックの「操作欄」中にある「転記」機能により、管理者自らが入力することもできます。

注意：表中に必要事項を入力して下部の「確認画面へ」をクリックし、確認画面にて入力漏れ等を確認したら同画面下部の「登録」をクリックすると機器管理番号も付されてログブックは使用できる状態となり、ログブック一覧にも表示されます。但し、**まだその状態ではログブックの使用は開始されてはおりません！**

1. ログブック使用開始にあたり、必ず**最初に「設置時追加充填量」を入力**して戴く必要があります。
2. 設置時追加充填量は原則として充填回収業者に入力して貰い管理者が承諾しますが、一覧中の「操作」欄中の「転記」機能によって管理者が自ら入力することもできます。
3. 設置時追加充填量の登録まではログブックの新規作成費に含まれますので、別途登録費用は不要です。
4. 設置時に追加充填していない場合は0と入力します。また以前設置した機器等で、設置時の記録が残っておらず正確な設置日や追加充填量等が不明の場合は推定値でも結構です。

設置時追加充填量が未登録ですと機器譲渡時の管理者変更等ができませんので、**必ずご登録願います！**

## 5. 行程管理票を紙モードで作成する際の「機器所有者等の氏名又は名称」欄の選択肢表記見直し

…充填回収業者等が行程管理票を紙モードで作成する際、登録済の廃棄者を入力するにも「履歴から選択」を利用せずに何度も「新規登録」を繰り返す事例が多いことから、「履歴から選択」の利用推進を図って選択肢の表記を見直しました。一度「新規登録」された廃棄者は「履歴から選択」で入力の手間が省けますので、是非ご利用ください。

## 6. 行程管理票のA票における「フロン類の処理方法」に選択肢追加

…行程管理票のA票の「フロン類の処理方法」では「再生希望」か「破壊希望」のどちらかを選択するようになっておりましたが、この度「再生・破壊のどちらでも良い」という選択肢を追加いたしました。尚これは、紙版の行程管理票も同様です。

— 以上 —